

## 今年度の取組みと成果

今年度は、2回のミーティング（勉強会）と3回のワークショップを通して、各拠点を結ぶ"メインストリート"である中央通りと東西通りを、より魅力的な通りにするためのアイデアなどを参加者の皆さんと一緒に考えていきました。

各回の開催概要は、市HPやFacebookページに掲載しているニュースレターをご覧ください。

**キックオフミーティング** 海外や日本の様々な事例を通して、道路空間が持つ可能性を茨木市でも発揮していくためのポイント・ヒントを教わりました。

**ワークショップ** 中央通りと東西通りをより魅力的な通りにするために、3つのテーマについて考えました。

<p><b>テーマ ① 通りの“ミリョク”を探しに行こう!</b></p> <p>4つのグループに分かれてまち歩きを行いました。まち歩きを通して、中央通りと東西通りの魅力や課題、可能性等を発見することができました。</p> 	<p><b>テーマ ② 通りの“ミライ”をイメージしよう!</b></p> <p>どんな通りだったら歩きたいと思えるのかや、中央通りと東西通りを将来どうしていきたいかなどについてイメージし、話し合いました。</p> 	<p><b>テーマ ③ 通りの“コセイ”を引き出そう!</b></p> <p>歩きたいと思える中央通りや東西通りにしていくための取組や空間活用のアイデアを、模型を使いながら話し合いました。</p> 
--	--	--

**ステップアップミーティング** トークイベントを開催し、メインストリートの将来像（素案）を共有したうえで、次年度以降の取組に向けて学び、語り合いました。

**次年度以降の予定**

令和4年度は、道路を活用した様々な社会実験を実施します。秋ごろの実施に向けて、みなさんと一緒に4月から具体的な検討を始めていきます!

**R3年度** 約10年後の未来を見据えて**未来の姿**を検討

**R4年度** 活動や滞留を促す**社会実験**で検証

**R5年度** 魅力ある通りの指針となる**ガイドライン**を作成

**R6年度以降** ガイドラインを踏まえた**環境整備**

これまでの取組みをFacebookページにてご紹介しています

情報発信中!



次なる茨木へ。

# いばらきストリートデザインワークショップ

ニュース #05

歩きやすく、歩きたくなるメインストリートへ!

いばらきストリートデザインワークショップとは

茨木市では、市の中心部を、より多くの人々が訪れ、滞在し、活動したくなるような"まちなか"にするための取組を進めています。2回のミーティング（勉強会）と3回のワークショップを通して、各拠点を結ぶ"メインストリート"である中央通りと東西通りを、より魅力的な通りにするためのアイデアなどを参加者の皆さんと一緒に考えていきます。



皆さんとこれまで取り組んできたワークショップの結果を踏まえ、**メインストリートの将来像を素案として取りまとめました。**

## メインストリートの将来像（素案）

将来コンセプトと、それをより具体化した4つのストリートイメージで構成しています。歩きやすさを支える「安心・安全」の視点を土台に、歩きたくなるような魅力的なストリートにつながる要素として、「点（スポットづくり）」「線（通り全体での雰囲気づくり）」「面（通りからまち全体への波及）」をイメージとして掲げています。

**めざすべき将来コンセプト**

**人が主役になり、まちの魅力を“次ぐ”2つのメインストリート**

市役所、新施設、広場などがある中心部と両駅をつなぐメインストリートとして、目的地へ向かう期待感や魅力的な雰囲気を演出する空間をデザインし、ストリートの魅力をまち全体に広げていく。

**めざすべき将来像に基づくストリートイメージ**

**点** スポットづくり 滞在空間

自然と生まれるやさやかなコミュニケーション

そこにいけば誰かに会える

ゆったり・休憩できる場所

自然に“触れる”季節を感じる

“がんばるぞ”とスイッチが入る通り

目的地へ向かう道の途中からワクワクできる通り

気軽に立ち寄れるオープンなお店の店先やゆっくり滞在できる空間で、やさやかなコミュニケーションが自然と生まれ、通りを行き来する人のゆとりや豊かさを感じることのできるストリート

ゆとりや豊かさのある道に

自然や季節、お店の賑わいなどを感じながら、新施設などの目的地に向けて気分が高まるストリート

自然観的な統一感

にぎわい

**線** 通り全体での魅力的な雰囲気づくり

2人並んで会話しながら歩ける安心安全な道

**面** 通りからまち全体へ

まちなかの個性がつながり“ふらっと”歩き回りたくなるストリート

回遊性

ガラス張りや中々何をやっているかわからないお店

ふらっと立ち寄れる

周辺の商店街や施設、東西軸と交差する路地など、まちなかの多様な個性がつながり、歩き回りたくなる起点となるストリート

2人並んで歩いたり、子どもからお年寄りまで車や自転車を気にせず、安心して歩ける安全なストリート

**安心・安全**

ゆったり並んで安心・安全に歩きやすいストリート

ワークショップの意見から生まれた将来像です!

\*この将来像は確定したものではありません。今後、様々な場所でご意見をいただきながら磨き上げていきます

# トークイベントを開催しました

2月6日（日）15時から、生活の豊かさを高める居場所づくりの取組を全国各地で実践されている園田聡氏の講演をお聞きした上で、本取組のアドバイザーである京都大学の山口准教授、福岡市長も加わり、次年度以降、社会実験などを通じて将来像（素案）を実現させ、魅力的なストリートにしていくためのポイントなどについて語り合いました。



約40名の方が参加されました

## 参加者のみなさんからの意見

講演中に、スマートフォンから質問や感想を投稿し、リアルタイムで意見交換を進めました。

学生が多いエリアなので、学生も参加・利用しやすい、愛着を持てる場づくりができるといいですね。

効果が現れるのには時間がかかることが理解できました。人がまちなかで楽しく過ごしている場面を、少しずつ増やしていけるといいですね！

目的地となるような場所が、たくさんあることがやはり魅力的ですね。

まちの事業者との協力が大事だと感じました！



## レクチャー（園田聡氏）

### 「まちなかの価値を高める ストリートの使い方・つくり方」



【講師】  
有限会社  
ハートビートプラン 取締役  
**園田 聡氏**

専門は都市デザイン、プレイスメイキング。  
大阪・東京を拠点に全国各地でプレイスメイキングの理念・手法を用いた実践・研究に取り組む。



利用者と一緒にルール作りや運営管理を考え、多様なシーンが生まれている広場\*（豊田市）

#### ■ まちの魅力とは

- まちの魅力とは、義務的な活動ではなく、自らやりたいと思えるような活動（散歩、読書、遊び、会話など）がどれだけ起きているかで決まります。
- コロナ禍を踏まえ、道路や広場などの身近なパブリックスペースで、そのような自由な活動ができる場所を生み出していくことがますます求められています。



#### ■ 実践事例を踏まえた場づくりのポイント

- 「なぜやるのか」という目標を共有しながら、覚悟を持って自分ごとにしていくことが重要です。目標を明確にしたうえで、小さな試行と検証を積み重ねることで、状況は変わっていきます。
- 一つだけではなく、複数の場所を対象に取り組むことで、いろいろな人の「やってみたい」を受け止めることができるようになり、まちの可能性が広がります。
- 質が高く、持続可能な運営には、適切な役割分担も大切です。地域の方や事業者・団体によるアイデアや質の高いサービスの提供と、行政による適切な規制緩和が合わさることが望ましいです。



仮設の店舗による賑わい空間の創出\*（豊田市）



公民連携によって運営している芝生広場と拠点施設\*（豊田市）



多様な滞留空間の創出\*（姫路市）

\*事例写真は園田氏の講演資料より引用

## クロストーク（園田聡氏 × 山口敬太氏 × 福岡洋一市長）

### 「茨木らしいメインストリートとは…」



園田 聡氏

#### 茨木のメインストリートの可能性

- ▶ 時間帯によって人がぱったりといなくなるオフィス街や繁華街でもない、人の暮らしが根付いたストリートであることに可能性を感じました。あくまで住むことがベースにあって、そこに住む以外の楽しみが増えていくことで、暮らしの豊かさを感じられるのだと思います。
- ▶ 道路幅員にそれほど余裕はないようですが、例えば、お店の中の様子が見えるようにするなど、道路上を占用せずに沿道の豊かさを感じられる方法もあります。
- ▶ 車の交通量が多くコインパーキングが多いならば、1日最大料金を支払ってそこを借り切ってしまうなども面白いかもしれません。

#### 魅力的な道路空間の実現に向けて

- ▶ 通りの将来像を考えるワークショップでは、「他者の存在を感じながらも、一人でゆったり過ごすくらいがちょうどよい時もある」という意見が出ていました。このような他者と空間を共有している感覚は、それ自体「ささやかなコミュニケーション」であると思います。
- ▶ 「ささやかな」に加えて、「ふらっと」「気軽に」という意見も印象的でした。これから魅力的な道路空間づくりを進めていくにあたって、そうした仕掛けが求められると感じています。



山口 敬太氏



福岡 洋一市長

#### 豊かさや幸せを感じる人との出会い

- ▶ 豊かさや幸せには、人との出会いが欠かせないと考えており、まちなかに人が出てきて、出会いが生まれるようなスポットをつくっていきたくて考えています。
- ▶ 現在建設を進めている新施設では、目的地に辿り着くまでに、様々な寄り道をして出会いが生まれる仕掛けを用意していますが、そのような仕掛けを、道路をはじめ、まちなかでも展開していきたいです。



これまで、公共空間において様々な社会実験を積み重ねてきました。今後も、将来像を市民の皆さんと共有しながら、歩みを進めていきたいです。